

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">公的扶助論</p>	<p>対象学科・学年 文学部教福3回生 教育教福3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">金 蘭 姫</p>																														
<p>授業テーマ 貧困と制度と援助</p>																																
<p>授業の概要と目標</p> <p>現代社会は豊かになったという文句をよく耳にする。果たしてその豊かさはすべてのひとに当てはまるものであろうか。ものの豊かさに隠れて貧困問題は存在しないだろうか。見える貧困問題としてホームレス問題をあげることができる。また児童虐待問題の原因ひとつとして経済的問題があげられている場合もある。</p> <p>本授業では、貧困・低所得問題の意味合いとその対策として公的扶助制度、そして社会福祉実践者の貧困・低所得問題とのかかわりについて学習し、我々の生活中に存在する貧困・低所得問題について再考してみる。</p>																																
<p>評価方法</p> <p>学年末テストの成績により評価します。 また出席率と1回のレポートを課し、その内容も考慮します。</p>																																
<p>テキスト</p> <p>社会福祉士養成テキストブック 10 公的扶助論</p>	<p>著者 岩田正美 他 編著</p>	<p>出版社 ミネルヴァ書房</p>																														
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>																														
<p>授業スケジュール・内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">1. 貧困・低所得問題 (1)</td> <td>貧困とは何だろうか、個人の責任問題、社会的問題、そのとらえ方は。</td> </tr> <tr> <td>2. 貧困・低所得問題 (2)</td> <td>貧困の一側面として低所得問題とは何かこれに社会福祉実践者はどうかかわるのか。</td> </tr> <tr> <td>3. 公的扶助の史的展開</td> <td>貧困・低所得問題は歴史的にどう対応されてきたのか。</td> </tr> <tr> <td>4. 現代社会と公的扶助</td> <td>では、現代社会での貧困、低所得問題</td> </tr> <tr> <td>5. 公的扶助制度 (1)</td> <td>生活保護の基本原則と生活保護実施の原則について</td> </tr> <tr> <td>6. 公的扶助制度 (2)</td> <td>その種類・範囲・方法とその基準について</td> </tr> <tr> <td>7. 公的扶助制度 (3)</td> <td>その実施・機関・保護施設について</td> </tr> <tr> <td>8. 公的扶助制度 (4)</td> <td>被保護者の権利・義務と不服申し立て・訴訟について</td> </tr> <tr> <td>9. 公的扶助制度 (5)</td> <td>費用とその他</td> </tr> <tr> <td>10. 公的扶助と援助方法 (1)</td> <td>生活保護における社会福祉の援助活動について</td> </tr> <tr> <td>11. 公的扶助と援助方法 (2)</td> <td>その関連専門職・関係機関との協働について</td> </tr> <tr> <td>12. 福祉事務所の教務と組織</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13. 諸外国の公的扶助制度</td> <td>イギリス、フランス、デンマークなどの福祉国家と韓国における公的扶助制度</td> </tr> <tr> <td>14. 日本における生活保護の動向</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. これからの公的援助と社会福祉</td> <td></td> </tr> </table>			1. 貧困・低所得問題 (1)	貧困とは何だろうか、個人の責任問題、社会的問題、そのとらえ方は。	2. 貧困・低所得問題 (2)	貧困の一側面として低所得問題とは何かこれに社会福祉実践者はどうかかわるのか。	3. 公的扶助の史的展開	貧困・低所得問題は歴史的にどう対応されてきたのか。	4. 現代社会と公的扶助	では、現代社会での貧困、低所得問題	5. 公的扶助制度 (1)	生活保護の基本原則と生活保護実施の原則について	6. 公的扶助制度 (2)	その種類・範囲・方法とその基準について	7. 公的扶助制度 (3)	その実施・機関・保護施設について	8. 公的扶助制度 (4)	被保護者の権利・義務と不服申し立て・訴訟について	9. 公的扶助制度 (5)	費用とその他	10. 公的扶助と援助方法 (1)	生活保護における社会福祉の援助活動について	11. 公的扶助と援助方法 (2)	その関連専門職・関係機関との協働について	12. 福祉事務所の教務と組織		13. 諸外国の公的扶助制度	イギリス、フランス、デンマークなどの福祉国家と韓国における公的扶助制度	14. 日本における生活保護の動向		15. これからの公的援助と社会福祉	
1. 貧困・低所得問題 (1)	貧困とは何だろうか、個人の責任問題、社会的問題、そのとらえ方は。																															
2. 貧困・低所得問題 (2)	貧困の一側面として低所得問題とは何かこれに社会福祉実践者はどうかかわるのか。																															
3. 公的扶助の史的展開	貧困・低所得問題は歴史的にどう対応されてきたのか。																															
4. 現代社会と公的扶助	では、現代社会での貧困、低所得問題																															
5. 公的扶助制度 (1)	生活保護の基本原則と生活保護実施の原則について																															
6. 公的扶助制度 (2)	その種類・範囲・方法とその基準について																															
7. 公的扶助制度 (3)	その実施・機関・保護施設について																															
8. 公的扶助制度 (4)	被保護者の権利・義務と不服申し立て・訴訟について																															
9. 公的扶助制度 (5)	費用とその他																															
10. 公的扶助と援助方法 (1)	生活保護における社会福祉の援助活動について																															
11. 公的扶助と援助方法 (2)	その関連専門職・関係機関との協働について																															
12. 福祉事務所の教務と組織																																
13. 諸外国の公的扶助制度	イギリス、フランス、デンマークなどの福祉国家と韓国における公的扶助制度																															
14. 日本における生活保護の動向																																
15. これからの公的援助と社会福祉																																